

【2018年4月12日第15回未来投資会議：経済産業大臣提出資料】

- ◆ 第四次産業革命の社会実装のためには、金融・決済、モビリティサービス等の分野で、多様な主体が先進的なサービスを生み出すことができる環境整備が必要。
- ◆ ヘルスケア、モビリティ（ドローン、空飛ぶ車等）、ロボット等、「Connected Industries」の様々な取組における成果、先端技術や新しい制度の枠組みを、日本センターと連携し、日本から世界へ発信できるよう、取組を加速。

## ＜日本センターのプロジェクト候補例＞

- ・ 今年10月に、世界中のプレイヤー（ベンチャー企業、投資家、サポート企業等）を集め、WEFやWEF第四次産業革命日本センターと連携して“Well Aging Society Summit”を開催予定。

### 国内外からの様々なプレイヤーを日本に招致

- ・ ベンチャー企業
- ・ 投資家、証券会社、製薬、医療機器、IT、商社、VC等

### The 1<sup>st</sup> Well Aging Society Summit

日時：2018年10月9日      会場：東京  
主催・共催（調整中）：AMED、WEF、WEF第四次産業革命センター、内閣官房、厚生労働省、経済産業省  
テーマ： ① 超高齢社会への対応  
          ② バイオベンチャー投資促進  
          ③ クオリティデジタルヘルス

高齢先進国である日本をテストベッドとして開発されたビジネスを世界に発信

国内外からの投資を活性化させ、日本の健康・医療・介護分野のR&D拠点としてのポジションを確立する